

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	上板橋看護専門学校
設置者名	学校法人慈誠会学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 (2年課程定時制)	看護学科	夜・通信	(新カリキュラム) 59 単位	3×3=9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) 令和5年(2023年)4月カリキュラム改定により、令和7年度は第1, 2, 3学年全て新カリキュラムとなる。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

教育科目一担当講師一覧表をHP内に公開している。
<https://kamiita-kango.jp/jyouhou>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	上板橋看護専門学校
設置者名	学校法人慈誠会学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

理事名簿は当校事務窓口にて閲覧可能である旨、HPに記載している。
<https://kamiita-kango.jp/jyohou>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人理事長	2025.5.28～ 2028 会計年度最終 評議員会終結迄	学校運営全般の チェック
非常勤	医療法人理事長	2025.5.28～ 2028 会計年度最終 評議員会終結迄	学校教育に関する 指導・チェック
(備考) 理事7名中、3名が学外者			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	上板橋看護専門学校
設置者名	学校法人慈誠会学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・作成について 授業計画(シラバス)は、毎年、教職員会議および教育会議、集中会議において、講義内容や構成を検討し、作成している。 検討する講義内容、構成の内容は、学習のねらい・学習目標・授業形態と方略・授業回数と講義概要・評価方法・テキスト・参考図書に関する事項で、全ての科目において、以上の内容を記載し、統一したシラバスを作成している。 ・時期および公表について 毎年7月から8月にかけて教育会議で検討した授業計画を、12月までに校正し、教育課程冊子とする。 教育課程冊子は、新年度4月に教職員・学生、学校関係者・実習施設へ配布している。また、HPに冊子の閲覧が可能であることを案内している。	
授業計画書の公表方法	上述 https://kamiita-kango.jp/jyuhou
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・授業科目の学修成果の評価 学則第11条(修了の認定)によるほか、「授業日、授業時間および出欠席等に関する規程」、「試験および単位履修認定に関する規程」を定め、厳格かつ適正に評価、単位認定を行っている。 (参考；評価に係る取組の概要) ・各科目規定時間の3分の2以上を出席することで、試験等を受ける資格を有する。 ・試験は、筆記・レポート・口述・実技等の方法で行うほか、臨地実習については、出席時間・学習内容・実習記録等を総合的に評価する。 ・試験等は、原則として100点満点とし、60点以上を合格とし、当該科目の履修を認定する。 ・公表について HPにおいて、単位認定についての概要を公表している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) - 客観的な指標の設定、成績評価の取組 成績評価は、「試験および単位履修認定に関する規程」第4条に基づき、試験成績の90点以上をS、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満は不合格としている。 GPAの導入により、S：4点、A：3点、B：2点、C：1点と各科目の評価を数値化し、各人の平均値を算出することで、学年成績の分布状況を把握し、学生の個別指導等に活かすとともに、授業の質の向上、評価の公正化に努める。 - 公表について GPAについては、HPに公開している。また、成績評価に係る学則、規程については学生便覧冊子に記載し、冊子を教職員・学生、学校関係者に配布している。また、HPに成績評価、GPAの概要を公表している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	上述 https://kamiita-kango.jp/jyouhou
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) - 卒業の認定方針 看護師養成校として、教育理念・目的・目標に加え、求める卒業生像を教育課程冊子内に記載するとともに卒業の認定に関する方針としている。 - 適切な実施に係る取組 卒業の認定については、学則24条（卒業の認定）に従い、全科目の単位修得者について、卒業認定会議の審議を経て、認定している。 - 公表について 教育理念・目的・目標および卒業生像は、教育課程冊子に記載し、冊子を教職員・学生、学校関係者へ配布し、また閲覧可能であることをHPに記載している。また、卒業認定の概要は、HP内に公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	上述 https://kamiita-kango.jp/jyouhou

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	上板橋看護専門学校
設置者名	学校法人慈誠会学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	掲載； https://kamiita-kango.jp/jyohou
収支計算書又は損益計算書	同 上
財産目録	同 上
事業報告書	同 上
監事による監査報告（書）	同 上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名	専門士	高度専門士	
医療		看護専門課程 (2年課程定時制)		看護学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
				講義・演習	実習	実験	実技
3年	昼	71 単位 (2, 110 時間)		55 単位 (1, 470 時間)	16 単位 (640 時間)	単位時間/ 単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		78 人	0 人	8 人	32 人	40 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）各学年1名の担任教員、及び国試対策教員を3名とし、チューター制による 学生個別面談等を通じて、授業、レポート、試験結果のフォローなどを個別に指導し ている。また、1学年次から、学生の試験委員会を中心に自主的な学習をすすめる体制 をつくり、教員が支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	0 人 (0 %)	24 人 (92.3 %)	2 人 (7.7 %)
(主な就職、業界等) 病院、その他医療介護福祉施設			
(就職指導内容) チューター制による個人面談、論文添削・模擬面接、業者による接遇・就活講習会の開催、学内での病院説明会開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86 人	0 人	0.0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 最低でも半期に1回以上、担任による個人面談を実施し、指導・状況把握を行っている。また、随時学生からの相談を受けるとともに、カウンセラー(非常勤)の窓口を設け、悩みの解消・退学の防止に努めている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	250,000 円	600,000 円	480,000 円	入学年度 計 1,330,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPに公開している。 https://kamiita-kango.jp/jyuhou		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 自己評価結果を基に、学校関係者として、関連法人、卒業生、地域住民などを含む学校関係者評価会議を設け、それぞれの知見を活かし教育内容・学校運営等について評価・提言を行う。学校関係者評価内容は、理事会・評議員会、学内教職員会議などで報告し、次年度以降の改善に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
病院 事務長	2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日	関連法人(実習施設)
看護師（病院勤務）	2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日	卒業生
地区町会	2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPに公開している。 https://kamiita-kango.jp/jyuhou		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kamiita-kango.jp
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113311900107
学校名（〇〇大学 等）	上板橋看護専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人慈誠会学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－ 人 （0人）	－ 人 （0人）	－ 人 （0人）
内 訳	第Ⅰ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	0 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0 人	0 人	
	区分外（多子世帯）	0 人	0 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人 （0人）
合計（年間）				－ 人 （0人）
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0 人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0 人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0 人	人	人
計	0 人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。